



発行者：福岡市議会議員 小竹りか
〒815-0041
福岡市南区野間3丁目4-1 川上ビル102号室
TEL.092-559-8155
FAX.092-559-8156

福岡市議会議員〔南区〕

こ た け
小竹りか



●目次 1.6月議会のご報告 2.「戦争とわたしたちの暮らし34」企画展のご案内 3.ご案内・告知

令和7年度6月議会のご報告

困難を抱える子どもたちを地域全体で支えるために

6月福岡市議会で、私は「困難を抱える子どもたちへの支援」をテーマに議会質問を行いました。

親が病気になったり、亡くなったり、虐待などにより、家庭で暮らすことが難しい子どもたちがいます。福岡市内では、現在約300人の子どもたちが親元を離れて生活しており、子どもたちが健やかに育つためには、温かい家庭的な環境が何よりも大切です。

そこで、今回の質問では特に以下の2点に注視しました。

①家庭への支援（保護者のもとでの養育）

福岡市では、保護者の方がご自宅で子どもを養育できるよう、「在宅支援サービス」の充実を図っています。その一つが、「ショートステイ事業」です。これは、保護者の方が一時的に休息を取れるよう、里親さんに子どもを預かってもらう制度です。



課題

受け入れ先の里親さんの登録数に地域差があること、そして利用ニーズが倍増している中で、さらなる里親さんの増加が必要であることです。

市の回答

利用者のニーズに応じ、全市的に受け皿の拡充に取り組む。

②里親さんへの支援（里親さんのもとでの養育）

家庭での養育が難しい子どもたちは、里親さんや児童養護施設で生活することになります。温かな家庭的な環境で子どもたちを育むためには、里親さんへのきめ細やかな支援が不可欠です。

そこで、私は里親さんの声を直接伺い、現在の支援で本当に必要なサポートが届いているのかを質問しました。里親さんからは、以下のご意見をいただきました。



課題

経験豊富な先輩里親さんに直接相談し、アドバイスを受けられる環境が欲しい。里子さんが将来安心して生活設計できるよう、支度金などの経済的支援の充実。また、不測の事態への補償制度がないことの不安。働きながら里親をされている方への勤務先などへの理解促進を。

市の回答

日常生活費等の増額を国に要望するとともに、里親への補償については他都市の状況を確認する。また、企業を含め里親制度への理解促進に取り組む。

「里親支援」の今後と相談窓口のご案内



今 回の議会質問にあたり、里親さんや支援団体の皆様から直接お話を伺い、子どもたちの「今」と「将来」のためにご尽力されている姿に心から感銘を受けました。市がそうした方々をしっかりと支えられるよう、私自身も今後もこの問題に取り組み、子どもたちの自立支援にも注視して活動してまいります。

里親になることに少しでもご興味がある方は、ぜひ右記までお問い合わせください。

福岡市は、平成28年より、里親のリクルートや研修、委託後までを包括的に支援する『フォスティング業務』を民間に業務委託し、他の都市より早くから里親の普及に取り組んでいます。そして、令和7年4月に更なる支援の強化のために『福岡市里親支援センター』が設立されました。

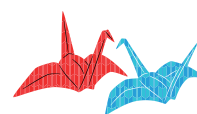
また、里親委託を推進するため、『えがお館』と民間NPOが協働して取り組んでいます。

そのため、里親の募集、研修、相談は里親支援センター、こども総合相談センター『えがお館』の2か所で行っています。

「里親支援」についての窓口はこちら

福岡市里親支援センター「ブルームウェル」
TEL.092-406-6351

福岡市こども総合相談センター「えがお館」
TEL.092-832-7108 FAX.092-833-3000



福岡大空襲から80年、平和への祈りを次世代へ

先 日、福岡大空襲から80年を迎えるにあたり開催された平和祈念資料展（6月14日・15日開催 福岡県教育会館）へ足を運びました。

戦地から家族にあてた手紙や遺書、戦時中の教科書、防空頭巾などが展示されており、改めて戦争の悲惨さを深く感じました。今もなお世界では争いが繰り返されており、私たちに何ができるのかを考えたとき、まずは「歴史をちゃんと知ること」の重要性を強く認識しました。

福岡市には常設の平和祈念館がありません。それを望む声もありますが、現状は福岡市博物館での展示に代えられています。



福岡市博物館では、「戦争とわたしたちの暮らし34」という企画展が開催されています。多くの方にご覧いただき、平和への思いを次世代へとつなげていく機会となることを願っています。

企画展示

「戦争とわたしたちの暮らし34」

場所：福岡市博物館（福岡市早良区百道浜3丁目1-1）
期間：9月15日（月・祝）まで
料金：一般200円、高大生150円、
中学生以下無料
電話：092-845-5011



ご案内

市政報告会・懇話会 開催します！

ご要望、ご質問、福岡市への要望などお聞かせください。
当日は、いなとみ修二衆議院議員が来場予定です。

●8月31日（日）10:30～11:30
アミカス 視聴覚室

- ◎予定は変更になる場合がございます。
- ◎いずれも予約不要。当日、会場までお越しください。
- ◎お子様連れ、途中入退室も歓迎です。
- ◎車でお越しの方は、近隣駐車場をご利用ください。

小竹りか・プロフィール

【経歴】 筑紫女学園高等学校・福岡教育大学卒
東福岡特別支援学校、出版社、結婚・出産を経て行政書士。
2023年福岡市議選で初当選

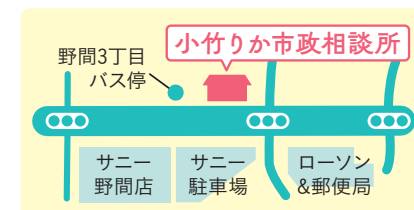
【所属】 経済振興委員会、少子・高齢化対策特別委員会
文化・スポーツ振興推進協議会、日韓友好福岡市議会連盟理事

小竹りか市政相談所 お気軽にお立ち寄りください。

〒815-0041
福岡市南区野間3丁目4-1
川上ビル102号室

TEL.092-559-8155
FAX.092-559-8156

kotake.rika@gmail.com





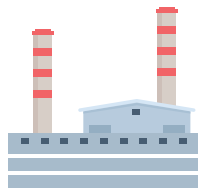
5月開催の臨時議会では、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会の編成等を確認し、落石俊則議員が経済振興委員会の委員長、井上まい議員が教育こども委員会の副委員長、議会運営委員会では、前野真実子議員が新たに就任し、田中たかし議員が理事を拝命しました。また、池田良子議員が監査委員に就任しました。

令和7年 第3回福岡市議会(6月定例会) 開催

令和7年第3回定例会[6月10日(火)～18日(水)] が開催され、令和7年度一般会計補正予算案、条例案など全27議案について審議しました。

議案より 1 ごみ分別に「プラスチック」が加わります！

令和9年2月からプラスチックごみの分別収集が開始されるにあたり、家庭系ごみ区分に「プラスチックごみ」を新たに追加。その料金（処理手数料）が決定しました。



※ 福岡市はごみ袋の売り上げがごみ処理費用に使われるため、処理手数料として扱われます

■ごみ袋の種類は45ℓと25ℓの2種類



(ペットボトル空きびんごみ袋と同じ1ℓあたり0.5円に設定)

議案より 2 医療的ケア児・者、強度行動障害を持つ方とご家族への支援が拡充されます

●訪問型在宅レスパイト事業

【対象】 24時間人工呼吸器を使用する医療的ケア児・者

▶サービスの利用時間が年間48時間から令和7年度は338時間へ拡充

●相談事業

【対象】 医療的ケア児、強度行動障害を持つ方、それぞれのご家族

▶専門知識や経験を有する相談員を増員し、伴走型の支援体制を構築

●両事業ともに、早ければ8月からスタート



悲劇を繰り返すな！実のある支援の拡充を！

議案質疑 [6月10日] 田中たかし（西区）



補正予算案の中から、医療的ケア児・者、強度行動障害を持つ方を看護する方への支援策に関し質疑。在宅レスパイト事業と相談事業が試行的に拡充されるため、実効性ある内容かを確認。レスパイト事業を担う訪問看護師や相談事業にあたる専門的知識と経験を有する相談員などの人材確保の見直し、

サービスを最大幅提供できるだけの予算措置がされているかなどを質し、問題ないことが認められました。今回のような支援策拡充は以前より求められていたものの、1月の博多区での事件を受けて緊急的に行われることは極めて残念と指摘。行政は日頃より当事者や議会の意見に真摯に耳を傾け、重大事案が起きる前に先んじて対応を取るよう強く要望しました。

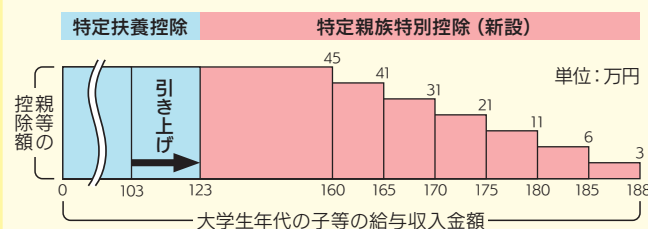
議案より 3 市税条例の一部改正について

令和7年度の税制改正で「103万円の壁」が123万円まで引き上げられました。さらに、住民税については条例改正で、特定親族特別控除が新設されます。

【対象】 大学生年代（19歳以上23歳未満）の子を扶養している親等

【内容】 対象者は、子等の所得が123万円を超えても、図のように段階的に控除を受けられます。世帯によって手取りの増加、雇用側の労働不足緩和が期待できます。※R8年度の市県民税から適応

【大学生年代（19～22歳）の子等に係る特定扶養控除等のイメージ】



学校にゆとりの時間をつくるべし！

一般質問 [6月11日] 落石俊則（東区）



本市の教職員の採用倍率は依然として低倍率であり、精神疾患による休職者も高止まりしています。子どもたちのゆたかな学びを保障するためには、長時間勤務を解消し、教材研究や授業準備、生徒指導等の時間を十分に確保する必要があります。2022年策定の「学校の働き方改革推進プログラム」では、月100時間以上の長時間勤務ゼロを目標としていますが未だ達成できていません。専門コンサルタントからの教職員の業務適正化・簡素化や土曜授業の在り方などの改善策提案を基に、実効性ある働き方改革の推進を要望。教育長から、指導・運営体制の充実や教員業務の適正化・効率化を進め、負担軽減を図るなど、学校の働き方改革を推進していくとの答弁を得ました。

緩やかな備蓄のすすめと食育・眠育の推進を

一般質問 [6月12日] ついちらは陽子（東区）



大災害発生時の生活の安定と安全確保のためには家庭内備蓄が重要ですが、市民意識調査によると家庭内備蓄をしている市民は43.8%と半数以下。備蓄率向上のため、生活必需品を少し多めに買っておく「ローリングストック法」の周知を求めました。『食育』と『眠育』の推進に関する質問では、当局も重要性は認めるものの推進策に積極性が感じられないため、食育については、関心を深めるための親子料理教室の開催等を提案。眠育では、本市は子どもの睡眠時間調査を独自に実施していないため、まずは詳しい調査をするよう要望。当局よりICTを活用して子ども達自身が自分の睡眠時間を振り返ることができるような方法について研究するとの答弁を得ました。

民間活力を生かしてリユースの促進を

一般質問 [6月12日] 小竹りか（南区）



市は3Rステーション等でリユースを推進していますが、市民アンケートではリユースしている人は37%。しない理由に「持ち込みが面倒」との声があるため、市による回収代行や新たなリユース拠点設置について質しましたが、実施予定はないと明言。リユースは他のごみ減量施策より後回しと指摘した上で、市がやらないならば民間活力を最大限に生かすべきと主張。「まだ使えるのに捨てられるもの」が活かされるよう、個人間で手軽に売買できるフリマアプリの活用、ジモティースポットのようないらない品物の交換ができる環境整備を要望するも、「民間事業者と連携したリユースイベント等を実施」するとの答弁に留まり、積極的な姿勢をみることはできませんでした。

行政DXを支える裏側について現状を確認！

一般質問 [6月13日] 井上まい（城南区）



市民サービスの向上や行政事務の効率化を図るため、本市では、内部システムの大改修が行われています。これまで約10年間で90億円余りの経費がかかっている一大事業です。行政の効率化を実現するために必要不可欠な基盤の整備となりますので、その進捗や成果について確認しつつ、行政サービスの質の向上に向けた土台づくりとして、着実な取組みを求めました。また、データを活用したEBPM（エビデンス・根拠に基づく政策立案）の実現に向けて、データ基盤の整備も進められています。先進事例である神戸市の例を紹介しつつ、本市が持つ様々なデータを部局の垣根を超えて多角的に分析し、より実効性の高い政策立案につなげるよう求めました。

Information

福岡市議会・福岡市民クラブ

第14回 議会活動報告会



「議会活動報告会」って？

一年間の会派の取り組みを広くお伝えするとともに、参加者の皆さまとの意見交換の場として、毎年開催しています。どちらの会場でも参加できますので、ご都合に合わせてお越しください。

<日時・会場のご案内>

①東区・博多区
10月4日(土) 13:00～
@福岡リーセントホテル／2F舞鶴の間

②早良区・西区
10月13日(月・祝) 18:30～
@さいとぴあ／多目的ホール

③中央区・南区・城南区
10月17日(金) 18:30～
@アミカス／アミカスホール

※当日の配布資料は、福岡市民クラブのHPに掲載いたしますので、ご参照ください。
※各区選出議員が報告します。